

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【492】

2. 日時：令和5年6月7日 13時30分～14時10分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官\*、千明主任安全審査官、  
中村主任安全審査官、服部(正)主任安全審査官、府川安全審査官、  
谷口技術参与、三浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

大橋技術研究調査官

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（電源土木） 他4名

電源事業本部 耐震設計土木グループ 担当副長 他3名\*

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 原子力建築室 担当\*

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい。規制庁の千明です。それでは島根原子力発電所 2 号機、設工認のヒアリングを始めます。本日の説明項目は耐震計算書近づいて仮設備となります。
0:00:11	それでは資料の確認と、ヒアリングの進め方について説明をお願いします。
0:00:16	はい。中国電力の高松です。それではまず資料の確認からさせていただきます。
0:00:23	資料番号ですね、N-Sに、他 3 市 8 階の 06 ということで回答整理表ですねこちら一番をお願いします。
0:00:35	はい続きましてN-SにA. 2、01907 回-05 ということで、補助計算書ですね、こちら 2 番をお願いします。
0:00:48	はい。最後です。N-Sに補 023、12 回の 06 ということで補足説明資料ですね、こちら 3 番をお願いします。
0:01:00	はい。それではですね進め方についてご説明させていただきますけど、こちらですね地下水位低下させ、揚水井戸のですね耐震性についての経産省のうちですね今回説明させていただく敷地側集水桝と横断排水炉につきましては、
0:01:16	前回 5 月 17 日のヒアリングでご説明させていただいておりまして、す、この図書について、最終補正に向けたチェックの過程で解析の結果に誤りがあるということがわかりました。
0:01:29	この後の所、修正なの内容をご説明させて、資料に沿ってご説明させていただきますけど、概要を申しますと、敷地側集水ますの方でですね、断面二次モーメントの取り方とばね定数の設定の仕方こちらに誤りがありました。
0:01:45	またですね、水道施設設計指針に基づく、鉛直梁モデル化の過程でですね、モデルの下端位置をマツノアノ下端位置にするべきだったところがアノマツノ部材芯になっていたということが、
0:01:59	わかりました。で、横断排水炉の方ですがこちらにつきましては、本来地震時に考慮すべき地盤ばねをですね、上Gの状態でアノばねを考慮していたということがわかりました。
0:02:11	主にこういったところのですね、解析の誤りがあったところを適正化してですね、改めてフレームモデルの再解析を実施して、今日お持ちしたというところですよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:22	解析の誤りのところについては大変申し訳ございませんでした。今後もしっかりチェックしてですね、最終補正に向けて提出できるようにしたいと思います。それでは資料の内容につきまして順次、佐田担当のサダタニの方からご説明させていただきます。
0:02:40	はい。中国電力のサダタニです。私の方から敷地が集水ますと屋外排水防波壁横断面につきまして修正の具体的な内容をご説明させていただきます。
0:02:52	まず、敷地が修正マツノ、修正内容についてです。資料ナンバー3の補足説明資料の通しページの26ページをお願いいたします。
0:03:10	こちら敷地が集水枡につきましてはフレーム解析モデルをホームページにお示しの通り、鉛直方向、水平方向のふたを二つ作成しております、
0:03:21	まず鉛直方向のモデルの修正につきまして、主な修正点をご説明いたします。
0:03:27	先ほど高松から話があった通りなんですが、モデル化範囲が、もともと底盤の中心から側壁の天端。
0:03:37	までとしていたところを、底盤の下端のところから、側壁の天端のところまでモデル化範囲を修正いたしました。
0:03:46	こちら水道施設耐震工法指針にモデル化の考え方を合わせ切れていなかった部分を修正させていただいたものになります。
0:03:56	続きまして水平方向のモデルの修正、こちら2点ございます。
0:04:02	年ページの25ページをお願いいたします。
0:04:08	こちらフレーム解析に使用する断面諸元としまして断面二次モーメントを修正させていただきました。
0:04:16	具体的には、表4-2、一番下の表ですね、こちらの右下のセルの値でして、
0:04:23	もともと6.7掛け10のマイナス2乗、
0:04:29	としていたところを、いや、今回4.3×10のマイナス2乗と修正いたしました。
0:04:35	こちらの断面二次モーメントの算定に用いる高さと幅の考え方が逆になっていたところを修正させていただきました。申し訳ございませんでした。
0:04:45	続きまして、こちらの資料の追記の箇所と、モデルの修正に伴う修正箇所について、主な修正箇所について、主な部分についてご説明いたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:59	通しページの 16 ページをお願いいたします。
0:05:14	こちら資料のわかりやすさの観点から側壁の鉛直水平断面、それぞれに作用させる荷重の概念図を追記いたしました。
0:05:24	こちら図 3-1 の(1)の側壁の鉛直断面の作用荷重で、赤線で書かせていただいている水平地震動こちらが、
0:05:34	躯体の慣性力になるんですがこちらの、
0:05:37	分布が底盤で少し大きくなるような形になっているんですが、
0:05:43	すいません、こちら実際はすべての高さ方向で中空の躯体重量を考慮しているので、すべて頭分布になり一直線。
0:05:50	になりますので次回資料の提出の際に、修正させていただきます申し訳ございません。
0:05:56	続きまして通しページ 18 ページをお願いいたします。
0:06:03	こちら、清迫勝さんの考え方のところでは当初せん断の照査につきましてはコンクリートのみを考慮した短期許容せん断応力度を許容限界としておりました。
0:06:15	本設備につきましては、側壁底盤ともにせん断補強金が配置されておりますので、
0:06:23	一部の部材調査具体的には側壁の水平断面のせん断照査になるんですが、
0:06:28	こちらにおいて 18 ページの黄色ハッチでお示しの通り専門せん断補強金に期待した短期許容せん断力を許容限界とすることといたしました。
0:06:41	続きまして、通しページの 22 ページをお願いいたします。
0:06:49	こちら図 3-3、(1)としまして地震応答解析結果の最大相対変位分布、
0:06:57	についてモデルの下端位置をテーマの中心から底盤の方のところに修正したことに伴いまして、相対変位の起点位置を、エレベーションの 2.1 メーターから、
0:07:09	エレベーション 1.7 メーターに変更させていただきました。
0:07:15	続きまして通しページの 28 ページをお願いいたします。
0:07:26	こちら 28 ページから以降 31 ページにかけて調査結果及び断面力図をモデルの修正に合わせて修正させていただきました。
0:07:41	で、
0:07:44	続きまして通しページの 32 ページを、
0:07:47	お願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:49	こちらの適正化リストでリスト化はさせていただいてはいるんですけど、説明がちょっと不足しているところがあるので、補足させていただきますと、
0:08:00	こちら底盤の調査結果を修正させていただいておりますこちらの修正の要因としましては、こちら底盤に作用する内水圧外水圧、
0:08:11	の密度を、海水のものを使っておりましたので、すいません地下水のものに訂正させていただきます、少し小数点以下のところが修正が入りましたので
0:08:23	適正化させていただきました。すいませんでした。
0:08:26	またこちらの一部の結果の記載のところ、
0:08:32	誤りがありましたので、すみませんが、口頭で訂正させていただきます。
0:08:39	通しページの 30 ページをお願いいたします。
0:08:45	こちらの $S_s-F II$ の結果
0:08:48	が、表 5-3 のところの、解析係数 $S_s-F II$ の結果でして、こちらの曲げモーメントの値が誤っておりました。
0:08:59	申し訳ございません。こちら 55.22 と記載がありますが正しくは、78.71kNメートル。
0:09:08	こちらの変更に伴いまして曲げ圧縮応力が 1.37 ニュートンパー平方ミリ。
0:09:15	D引張の方が 38.07。
0:09:18	です。
0:09:19	照査値が 0.08 から、曲げ圧縮の方につきましては 0.11。
0:09:27	引張の方につきましては、0.08 が 0.13。
0:09:31	に、修正になります。
0:09:35	で、あと 1 点が、表 5-4、せん断力に対する調査結果としまして $S_s-F II$ のところですね同様に、今、発生せん断力が 104.21kN
0:09:47	とあるところが 140、正しくは 142.69kN
0:09:52	で調査値としましては、0.20 が 0.27。
0:09:57	が、正しいものになります。
0:10:00	重ねてすみませんでした。
0:10:04	ここまでが、
0:10:07	集水枡の説明になります。
0:10:10	続きまして、
0:10:12	排水炉。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:14	の方の説明修正についてご説明いたします。通しページの 58 ページをお願いいたします。
0:10:29	こちら、こちらの設備につきましてはフレーム解析モデルが、図 4-1 にお示し
0:10:36	の通りのものでございまして、
0:10:38	常時荷重地震時荷重それぞれを作用させ立させた際に発生する断面力を重ね合わせて断面の調査を実施しております。
0:10:49	その中で、常時荷重を作用させたときの、フレーム解析モデルの構造物と地盤間の境界条件を本来はばねなしの固定とするべきだったところが、
0:11:01	この図 4-1 にし、お示しの通り地盤ばねを設定したままで、解析を実施しておりましたので、本来の固定条件に修正いたしまして、
0:11:12	修正いたしました。
0:11:14	続きまして、モデルの変更以外の主な変更点や追記箇所をご説明します。
0:11:21	通しページの 47 ページをお願いします。
0:11:36	こちら、47 ページのところで、
0:11:39	(1)で書かしてもらってる崖錐圧なんですけど、
0:11:44	当初、こちら地表面のいえる 8.5 メートルとしておりましたが、地盤の支持性能に係る基本方針にお示しの通り、3 次元の浸透流解析結果に従いまして、
0:11:55	0 ベーションの 3.9 メーターに修正いたしました。
0:11:58	またこちらのエレベーション 3.9 メーターに両括弧がついておりますがこちら動きのため修正いたします申し訳ございません。
0:12:05	また、構造物の長版と底版は、PC材が配置されておりますので、
0:12:13	ページ中段の(5)ですね、にお示しの通りプレストレス力、
0:12:18	そしてコンクリート標準示方書の 2012 年のものに基づきまして、上盤と底盤に軸方向力を入力することいたしました。
0:12:29	続きまして 48 ページのところの図 3-3 のところに作用荷重の概念図を追加させていただきました。
0:12:43	続きまして、通しページの 59 ページをお願いします。
0:12:52	こちらのページ等 60 ページに、照査結果と断面力図の修正したものを載せております。
0:13:02	最後になりますが 61 ページの表 5-3。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:07	のところですが、こちら申し訳ございませんが申請は、こちらの黄色ハッチングは動きでございましてこちらは修正はございません。
0:13:16	こちらからの説明は以上になります。
0:13:21	はい、規制庁チギラです。それでは、今説明がありました、近づいて仮設備、
0:13:27	に関する資料の内容についてですね、確認する点がある方はお願いします。
0:13:46	規制庁の服部です。2点ほど確認をさせていただきます。
0:13:50	③番の47ページお願いします。
0:13:54	衛藤先ほど説明されたのはサダタニさん、その辺りによろしいですかサダタニさんの説明の中では、これが水圧等、
0:14:03	黒瀬プレプレストレスト力だけの説明があったと思うんですけど、これ全体的に黄色になってるんですけど。
0:14:13	他のところは何で変わって、
0:14:15	何が変わってるんですか。
0:14:18	中国電力のサダタニですこちら、
0:14:22	排水炉の屋外排水量の方につきましてはこちらの荷重の説明文が追加できておりませんでしたので、修正マツノ法に合わせて、すべて説明文を
0:14:33	追加させていただいたというものです。で、その中でも荷重のそもそも作用させていなかった荷重であったり荷重の考え方、
0:14:42	を変えた部分について特記的にご説明させていただきました。以上です。
0:14:49	規制庁のハツリですはいわかりました。
0:14:51	それともう1点は、先ほど高松さんからの説明があったときは、何か、ばね定数を、
0:15:00	何か時上、うん、地震時に使うべきものを常時のものを使っていったとかなんかそういう話が少しあったと思うんですけど、今サダタニさんの説明の中ではその話がなくて、
0:15:12	それはどこの話をしてるんですしたっけ。
0:15:19	へえ。
0:15:22	そうですか。
0:15:25	はい。中国電力の高松です。資料ページで言いますと58ページに、
0:15:31	なりまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:33	はい。こちらの横断排水のですね、二次元フレーム解析モデル図ということで、これ地震時、基本的にはこの常時のアノを発生応力断面力と、
0:15:45	地震時の増分、これを重ねを足し合わせてるっていう、これ今お示しするのは地震Gのモデルで、こちらには当然バネがついております。で、先ほど佐田谷井の方からもありましたけど常時につきましてはこれがバネがない、
0:16:00	固定条件でフレームを組んでモデル組んで常時解析をしてそれと地震時のこのバネが設定した、発生断面力と足し合わせるっていうのをやらないといけないんだけど、
0:16:11	このバネがですね常時の方にもついてたというのが、誤りの要因でございます。
0:16:17	以上です。規制庁の服部ですわかりました
0:16:22	その話はサダタニさんの説明で理解できたんですけど、何か高松さんの説明の時はアノばねの取り違えがあったみたいな話に聞こえたので、あれ、その説明はと思ったんですけど、
0:16:35	そういう意味ならわかりました。普通のやり方ですよそれがね。それは理解しました私がちょっと高松さんの説明を取り違えて、理解していたのでこういう確認になりました。私からは以上です。
0:16:58	規制庁の三浦です。
0:17:00	うん。今の 58 ページなんですけど、
0:17:05	ばねついてるやつが地震時でやって、
0:17:09	常時荷重時は固定境界とおっしゃってたの、底面分だけ工程業界って意味ですか。側面ばねが全部外れてる状態。
0:17:19	中国電力のサダタニですご認識の通りでございます、固定条件のイメージとしましては、
0:17:27	通しの 26 ページ、
0:17:30	水平方向の断面が、こちらが条件が近くで、一番右上についてる、この固定のところが、左下についたような、
0:17:42	もので、
0:17:45	それを固定条件として常時解析をしているという形です以上です。わかりました。
0:17:52	それはあれなんですか。今の、何か水平ばねの部分だけじゃなくて、城Gの解析モデルってどこに書く必要はないんでしょうか。
0:18:04	中国電力のサダタニです。こちら、その常時のモデルとして、固定条件のところ反映させていただきます以上です。はいお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:18:14	それと今のご説明とちょっと違うんだけどもう、
0:18:18	添付資料のね、32 ページに、資料 2 の 32 ページですか。
0:18:28	はあ。
0:18:29	これをカガワ排水労の横断部呉で、
0:18:33	CC断面等で断面入れてますよね。これは、
0:18:39	今までは言っていましたっけ。
0:18:42	中国電力のサトウですこれ追加させていただきましたので追加したのはいいんですけど、これぱっとこれ見るとね。
0:18:49	この図に対する説明が何も入ってないんですよ。で、
0:18:54	例えばこれ、これPCでやってるからワインユニットが医師 995。
0:19:00	なんででしょう。先ほどちょっとご説明あったようにプレス入れてるのが長伴と底盤なんで、そこにPCが入ってるんですよ。
0:19:08	これはですね、ちょっとその前の構造改良か何かなところでもいいんですけど、この図を入れたんならば、この図に対する説明を入れといていただいていた方がいいと思うんですよ。
0:19:20	ちょっとCC断面でイイダ面からこれを想定するのはとてもじゃないと無理なので、
0:19:26	ちょっとその辺はお願いしてよろしいですか。
0:19:30	電力のサダタニです説明文入れさせていただきます。以上です。
0:19:34	あと、18 ページ、ごめんなさい。資料 3 の 18 ページ。
0:19:40	これもちょっと先ほど、
0:19:43	旋盤の話で、間瀬檀評議員入ってるから、
0:19:47	VCとVSの足し合わせの部分で調査した部分あるよっていう話で、その中身は理解できたんですが、
0:19:54	上から 2 黄色や 9 行目か何かなんだけど、ここで黄色線が、黄色では、ハッチングされてる部分なんですけど、これ言葉ダブってますよね。
0:20:04	短期許容せん断応力度は、表 3-2 に示す、コンクリートの鉄筋の短期応力度から、
0:20:11	算定するでいいんじゃないですか。これ言葉出して短期許容せん断力って二つ目の、この言葉は要らないと思うんですけど。
0:20:21	中国電力のサダタニ、確か日本語がちょっとおかしくなったので、修正させていただきます。以上です。はい。最終終了ですときは、その辺も修正をよろしく願います。はい。私から以上です。
0:20:38	規制庁大橋です。
0:20:41	3 番目の資料の 8 ページ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:45	8 ページに、
0:20:47	断面図が載ってるんですが、
0:20:50	これ
0:20:52	マツノ。
0:20:54	敷地側は埋め戻しコンクリートになってて、
0:20:57	海側は改良地盤になってるんですけど、
0:21:01	このマツオ工事するとき、作るときは、
0:21:05	最初 2、
0:21:06	EL1.7 の下ババD、MMRがあったとして、
0:21:11	周辺には改良地盤が、
0:21:13	存在しなくて、躯体を上げてって、
0:21:17	で、
0:21:18	引地側コンクリートで埋めるんだけど、
0:21:22	海側はそのあと、
0:21:26	海側に改良地盤ってか、実際はもっと広がってるんですが、
0:21:30	一緒に改良地盤もイワマで、
0:21:33	施工するっていうそういう手順ですか何で海側に埋戻しコンクリートがないのかっていうことなんですけどね。
0:21:46	はい。中国電力の
0:21:48	高松です。こちらですね詳細な施工の手順というのは、今後になると思いますんで、なかなかはっきりしたところは、今後になるとは思いますが、
0:21:58	基本的にはこれ東側に防波壁の改良地盤がございまして、資料番号で言いますと、3-35 ページですね。
0:22:17	はい。3-35 ページの図の 2-3。
0:22:21	ていうのになります。
0:22:24	はい。で今こういった状況で暴排キーの下部周辺には改良地盤がございまして、今後、マース敷地が集水枡を設置するということになりますと、
0:22:35	この改良地盤の西側のます呉ができる境界のところ辺りに土どめをするなりして、それで北川東側、秋北川西側南側に同じく土どめを設置して、
0:22:51	構造物マツオ作ることになると思います。なのでそのを聞いた日に比嘉ミナミについては、その土どめと新しくできた数の間をコンクリートで埋

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	め戻すというふうな形になると思いますのでこういった図示にしております。以上です。
0:23:10	規制庁大橋です。
0:23:12	マツノ海側改良地盤でいいんだってということで、それで理解するんですけども、
0:23:18	今回耐震評価をするときに、
0:23:22	結局応答変位法を使うってことは、
0:23:26	周
0:23:28	作用させる相対変位をどう計算していくかっていう話と、
0:23:33	あとばねスキルフレームモデルでそのばねを、
0:23:37	どういう値を使うかっていうのが、大戸インフォの肝だと思うんで、
0:23:42	そののですね、
0:23:45	解析上、周辺の地盤を、
0:23:49	どう考えていくかっていうのを、
0:23:52	もうちょっと丁寧に記載して欲しいなと思います。例えば 20 ページの方には、地震応答解析で、
0:24:00	真ん中辺に、集水桝周辺の、
0:24:04	地盤は地盤③としてモデル化するっていうことになってて、
0:24:09	21 ページの、
0:24:11	モデル図は、
0:24:12	改良地盤さんっていうのが右側に書いてあるんですけども、
0:24:16	さっき説明してもらった図は、
0:24:20	上の方は、改良地盤、1、2 とか、
0:24:23	なったりして、
0:24:25	ちょっと、
0:24:26	不整合っぽく見えてくるんで、
0:24:30	さっきの何ページ、50 何ページぐらいに、
0:24:33	ありましたよね。
0:24:35	35 ページか。
0:24:36	そこは上の方に来ると、改良地盤、一、二って書いてあったりするんで、
0:24:41	ここは
0:24:43	それほど大きな問題はないと思うんですけど、
0:24:46	もうちょっと、
0:24:47	記載を丁寧に、周辺の地盤はこう考えて、
0:24:51	評価してますっていうのを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:54	書いてもらえばいいかなと思いますけどどうでしょう。
0:24:58	はい。
0:24:59	中国電力の高松です。今ほどおっしゃっていただいた通りかと思 います。前回、前々回のヒアリングです。これについてはご指摘いた しまして、
0:25:09	MMRでこの1次元解析モデルを、の改良地盤今③ってなってる とこです。ここMMRで、
0:25:19	モデル化したところを、適正化を考えるようにということで、改良 地盤03にして、考え方としましては20ページに書かせていただ いております。通り、
0:25:30	基本的には三面Aと書いてMMRで囲まれてるんだけど、そこは保 守的に改良上は③でモデル化しますというふうに整理させていた いただきましたので、ただ1010に対してといったところの、
0:25:45	言及まではできておりませんのでそこちょっと記載を丁寧にする ことを考えたいと思います。以上です。
0:25:51	規制庁大橋です。
0:25:53	次のコメントですけれども、
0:25:55	22ページの方で、
0:25:58	1次元応答回数、
0:26:01	地震応答解析の結果が、
0:26:04	ですが、
0:26:05	これ水泳をどこだ形の結果しかなくて、
0:26:10	鉛直方向の、
0:26:11	結果が示されてなくて、
0:26:15	それ実際底盤の話は、鉛直方向の結果カラー
0:26:20	震度を求めていくって話なので、
0:26:23	これは鉛直方向の、
0:26:26	1次元、
0:26:29	地震応答解析の結果がちょっと要るかなと思います。
0:26:33	また
0:26:34	最初の説明のところで、
0:26:37	水平の変位を求めるときは、底盤の下ずらいL+1.7から見る って話なんですけど、
0:26:45	鉛直震度の場合は、
0:26:47	下ズラーじゃない方が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:51	評価としては適切なような感じがするんですけども、
0:26:56	統一性っていうところで見れば、鉛直方向の、
0:27:00	ピックアップするところが、
0:27:03	多少ずれていっても、鉛直方向は正直言って、
0:27:07	それほど大きな問題はないかと思うんですがこの見解はどうでしょうか。
0:27:14	中国電力のサダタニですまず 1 点目の鉛直方向の分布図の記載については追加させていただきます。
0:27:25	鉛直方向の振動をとる位置になるんですけど、
0:27:30	底盤の一井ではなくて集水マツ集水枡を設置している 1 範囲での、全国の最大の応答加速度。
0:27:39	をとっておりますので、これ保守的な設定。
0:27:43	としてできているかなと考えております以上です。
0:27:47	規制庁大橋です。すいませんちょっと理解。
0:27:51	不十分だったんですけど。
0:27:52	底盤ではなくて、
0:27:54	まず全体を見て振動を決めたということでしょうか。
0:27:59	中国電力のサダタニですご認識の通りでございます。以上です。
0:28:04	規制庁大橋です。
0:28:07	鉛直方向の震度の取り方はわかりました。
0:28:11	それとですね、
0:28:16	24 ページのところなんですけど、
0:28:20	市場ですね、水平方向に説いたモデルで、水道施設耐震工法指針に示される指示条件を使ったっていう具合に書いてあるんですけど、
0:28:32	ちょっとこれだけの文章だとぴんとこなくて、
0:28:37	水道指針を眺めてみると、
0:28:40	一番伴侶食うみたいなのを、
0:28:43	合い方として加えたのなっていう感じもするんですけど、ここはもうちょっと具体的に書けないでしょうか。
0:28:54	中国電力の佐竹です。
0:28:57	具体的に書かせていただきます内容としましては通しページの 26 ページの水平方向断面、
0:29:05	のところですね、こちら、
0:29:08	書かせていただいております
0:29:12	App 指示と

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:15	右下固定の条件で支持させたっていう状況になりますので、そちらをこちらの文章の方にも丁寧に書かせていただきます以上です。
0:29:26	規制庁大橋です。
0:29:27	次のコメントなのですが、29 ページ。
0:29:32	③、3 番目の資料の 29 ページで、
0:29:37	足液位の
0:29:39	断面力が出てるんですが、
0:29:42	この曲げモーメント図を見ると、
0:29:45	側壁の真ん中ぐらいで大きな曲げモーメントが発生するっていう形になってて、
0:29:52	これ、
0:29:53	側面にばねがついてるので、
0:29:57	男性症状の梁みたいな感じでこう出るのかなとは思んですけども、
0:30:02	現実的には、
0:30:04	底面固定の
0:30:06	一本
0:30:07	ばりみみたいなものを考えると、
0:30:10	アノ型の方に大きな曲げモーメントが出る。
0:30:13	ていうのが一般的に思われるんですが、
0:30:16	層厚に関する菅見解はどうでしょうか。
0:30:27	中国電力のサダタニです。
0:30:32	まずて、
0:30:33	底面の固定条件の話をする。
0:30:38	26 ページの鉛直モデルのところですね。
0:30:43	一番方の栄養番号としましては一番の下のところですねこちら完全固定ではなくて地盤ばねを設定している。
0:30:54	ということと、あと、断面力の分布的な話をさせていただきますと、
0:31:00	通しページの 16 ページ。
0:31:04	のところですね。
0:31:06	ちょっとこれが前としては、ちょっと、
0:31:11	わかりにくいところもあるかもしれないですが地震、
0:31:15	自動圧としては、
0:31:18	ちょっとこれがわかりづらいんですが、真ん中辺りで一番大きく出るような形になっておりまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:27	これに対応して、うまくの断面力図としても、同じような形で発生したのではないかと考えております。以上です。
0:31:41	規制庁大橋です。こういうモデルでとけばこういう結果になるんだらうというの、理解した上で、
0:31:50	聞いてはいるんですが、
0:31:53	感触としては、
0:31:55	やっぱり、
0:32:00	底盤の地盤反力食う。
0:32:02	とか、実際には、
0:32:05	この時価たの構造物なので、
0:32:08	テーマからもう、
0:32:10	側壁に曲げモーメント伝わってくるし、ある程度こういうモデルで解く以上こうなると思いますんで、ある程度、ちょっと余裕を持った設計をしてくれればいいかなとは、
0:32:22	思います。これ実際余裕はありますか。
0:32:28	中国電力のサダタニです
0:32:34	こちらの、はい。
0:32:37	衛藤っす。
0:32:38	土地は 28 ページ。
0:32:41	の通り
0:32:42	側壁の鉛直断面の
0:32:46	調査としましては、最大が 0.48 で
0:32:50	十分余裕を持った設計ができていかなと考えております以上です。
0:32:55	規制庁大橋です。余裕あるので、多少モデル化の差、違いによって、7、
0:33:02	断面力が違っても問題ないということで理解しました。どうもありがとうございます以上です。
0:33:11	規制庁の服部です。先ほど大橋からの確認で、
0:33:16	鉛直震度に対して、
0:33:20	1次元波動論の結果を載せるっていう話になったと思うんですけど。
0:33:24	載せるのであれば、どこで先ほどの話で底面じゃなくて全体を見て、一番大きいところって言うので、
0:33:34	ここですよっていうのも少し入れてもらえば、よりわかりやすいと思うので、
0:33:40	それも入れていただければなと思いますが、いかがでしょう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:45	オク電力の佐田です。ご指摘、理解いたしましたのでそのようにいたします以上です。規制庁のハツリですはいわかりましたそれが結果がなければねイデようがないのでまあいいかなと思ったんですけどつけるのであれば、
0:33:56	つけていただいた方がより、リンクが
0:34:00	よくわかりやすいと思うのでよろしくお願いします私からは以上です。
0:34:09	規制庁の谷口です。
0:34:13	オクby配水炉の
0:34:15	夫婦併記のオンダんぼ端部のところの話ですけども、
0:34:20	ここはプレセールを入れた。
0:34:24	ていうのが一つの変ったところだって説明してるんですけど。
0:34:29	このプレスセル食うについては、
0:34:34	どういう導入して、どういう定着してるのかとかそういう収まりについては全く表現がされてなくて、
0:34:42	具体的なものは全くわからないままで、導入した16の数字しか書いてないので、この辺、どういう形で定着してて、
0:34:53	どういう根拠で作ったのか、
0:34:58	数値的には255、92トンを入れましたって書いてあるだけなので、この辺についてもう少し記載を充実化していただけないかなと思うんですけどいかがでしょうか。
0:35:13	中国電力のサダタニです定着方法であったり
0:35:18	その他の内容についても記載拡充させていただきます。以上です。はい。
0:35:32	この図の中で、C断面とD断面にだけ30、40センチピッチぐらい入れましたっていうのがわかるんですけど。
0:35:43	それに直交それ一断面B断面には何も記載されてないので、この辺やっぱり記載の仕方をもう少し、
0:35:52	CC断面C断面で断面に直交する側も、どういうことをどういうふうにしてあるのかってことも含めて説明をしていただいて、この数字をどうやって出すのかっていうのを説明を、
0:36:04	充実化していただければと思います。
0:36:11	はい。中国電力の高松です。こちらですね37ページであったり38ページを見ていただきたいんですけど、38ページで言いますところのこの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:36:22	プレストレスト力ですね、こちらはPC構造材が衛藤排水をですね、横断する方向に設置されておりますので、37 ページで言うところのですね、
0:36:35	横断方向輪切りにした断面の方にですね直接書くていうところはなかなか難しいかなと思うんですけど、そういう、どういった配置になってるかとか先ほどご指摘いただいた定着条件のところですね。
0:36:48	できるだけ資料のこの 37 ページより前のところですね、きっちり書いて、お伝えできるようにしたいなと考えます。以上です。はい。よろしくお願ひします。以上です。
0:37:03	規制庁の服部です。ちょっと今までの間、
0:37:07	あの点についてちょっと1点だけ確認させてください。
0:37:10	先ほど、週数末は、今後作るっていう話がありますよね。
0:37:15	こっちの排水炉の方は、
0:37:18	これはもう常に作られてるという理解でよろしいですか。
0:37:24	はい。中国電力の高松です。おっしゃった通りの理解で結構です。以上です。規制庁の服部ですということは、その計画を書くのではなくて、実際の施工した
0:37:35	やり方を今説明するということで理解しましたわかりました以上です。
0:37:48	はい、規制庁チギリソダ他、
0:37:51	何かありますか。
0:37:56	江崎さん何かありますか。
0:38:02	瀬崎です。特にありません。
0:38:06	わかりました。
0:38:07	すいません。私から1点だけちょっと確認なんですけど資料3の、
0:38:11	39 ページで、
0:38:14	今回、黄色ハッチングしてる変位及び慣性力って書いてあるところの、及び関西力なんですけど、これは一番の事業の適正化リストだと、この慣性力がですねと加速度になってるんですけど、どっちが正しいか、ちょっと
0:38:30	中国電力のサダタニです加速度が正しいです申し訳ございませんでした。以上です。はい。
0:38:36	そこも適正化お願いします。
0:38:41	はい。他、
0:38:44	よろしいですか。
0:38:48	中部電力からは、
0:38:51	はい。中国電力の高松です。弊社の方からございません。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:56	わかりました。それでは本日、幾つか適正化がありましたのでそちらの方も対応いただければというふうに思います。
0:39:04	それでは本日のヒアリング終了いたします。ありがとうございました。
0:39:09	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。